

令和4年度春季演習場整備

第6師団は、白河布引山演習場の整備を担当するとともに、王城寺原演習場の整備を担当する第2施設団に部隊を差し出して、道路の路面整形、排水機能維持のため側溝及び溜り溝の清掃、防火帯の整備、機動路伐開、崩壊箇所補修等多岐にわたる整備を実施しました。

今回の最大の特性は、火力戦闘の視射界や陣地地積の確保、機動・展開の行動地帯確保のため、支障のある木々を伐開する作業を実施しました。

また、整備隊本部に施設技術指導組を編成し、各部隊の実施する任務に応じた指導及び統制を行うとともに、樹木伐採に係る技術の向上を図りました。

宿営においては、部隊を分散して異なる部隊間の接触を回避し、新型コロナウイルス感染症防止に努めました。

引き続き師団は、演習場整備の中期計画に基づいて未活用地域の間伐を推進し、更なる訓練基盤の整備を実施していく予定です。



白河布引山演習場 師団長視察

第6師団は5月11日から19日までの間、白河布引山演習場及び王城寺原演習場において令和4年度春季演習場統一整備を実施しました。



やまなみ

第6師団

師団長 統率方針

任務完遂



弾着地整備

小火器戦闘射場整備



爆破訓練場整備

整備前 → → → 整備後

整備前 → → 特科陣地 視射界整備 (新群原)

整備後



第6師団は5月24日山形県酒田市浜海岸で発見された部外不発弾の回収を行いました。

不発弾回収については、第6後方支援連隊(連隊長萩野1佐)が担任し、連隊本部及び第1整備大隊の不発弾処理技能者を含む計6名の隊員が不発弾回収作業を実施しました。

庄内総合支庁担当者と連携し、自治体の機材を使用して作業が行われました。

作業は緊張感が漂う中、整齊と行われ、油圧シヤベルにより盛り土から直径約50センチメートル・長さ約4メートルの筒状の不発弾を掘り出しました。

さらに掘り出された不発弾を、バックフオーでつり上げ不発弾運搬車に慎重に積載して運搬し、自衛隊の大型車両に積み換えて、神町駐屯地まで移送し回収を無事に完了しました。

師団はこれからも民生の安定に寄与していきます。



不発弾回収作業

第6後方支援連隊



第6師団 Twitterフォロワー数 **6,284**

6月9日 現在

みなさんのフォロー ありがとうございます



心理幹部による講義



傾聴技法の実習

第6師団は、5月30日から6月3日の間「令和4年度第1回部隊相談員養成集合訓練」を実施しました。

昨年度はコロナ禍の影響により小規模で実施していましたが、今回は2年ぶりに神町駐屯地体育館を訓練会場とし、師団隷下部隊、方面直轄部隊等から合わせ

39名の隊員が被教育者として参加しました。

訓練参加者は、職種、階級、年齢、性別、現補職等様々ですが、お互いの立場を尊重し合い、指導部や被教育者がそれぞれの立場からフィードバックを積極的に取り入れることで、「人格の尊重」を大前提と

した傾聴力の向上に、日々チャレンジしていました。

また、組織のストレス対処法や個人のストレス対処法を実際に体験しました。

5日間の養成訓練で必要な技法を習得し、参加した39名全員は無事修了書を授与され訓練は終了しました。

令和4年度第1回 部隊相談員養成集合訓練 第6師団

第44普通科連隊(連隊長湯舟1佐)は、令和4年5月15日に二本松市(安達太良連隊)が主催する「安達太良山山開き」を支援しました。

安達太良山は、標高1700mで日本百名山の一つとして親しまれ、毎年多くの登山者で賑わっています。その安全態勢の維持に協力しているのは、隊区を担当している第2中隊(中隊長迫田3佐)です。

中隊長以下23名は、3ヶ所の登山口に分かれて、登山者の救援・救護、通信の連絡態勢を確立する等の安



山頂を目指す登山者を見守る隊員



安全祈願祭に参加する支援隊長

全態勢の維持に寄与しました。隊員が見守る中、約3千人の登山者が、美しい花々や新緑と残雪が入り交る景色を楽しみながら思い思いに山頂を目指しました。

また、山頂での安全祈願祭も3年ぶりに執り行われ、無事に山開き支援を終了しました。

百名山にて安全確保 (福島県安達太良山開き支援) 第44普通科連隊